括弧の省略

式中の括弧の省略

加法と減法からなる式について、

加法または減法を行う数についている括弧を省略できる

- -加法だけの式にして、加法の記号(+)と括弧を省略する
- -式の先頭の項が正の数なら、その正の符号も省略する

<例>

減法のところを

$$(+6) + (+8) + (-7) - (+3) - (-2)$$
 加法に
$$= (+6) + (+8) + (-7) + (-3) + (+2)$$
 画法の記号と括弧を省略

先頭の正の符号も省略

正の数の加法と減法→正の符号と括弧をそのまま省略 負の数をたす→その数の絶対値でひく 負の数をひく→その数の絶対値をたす という考え方でOK

<確認問題>

次の式について、括弧を省略して表せ。

$$(1)$$
 $(+4) + (-8)$

$$(2) \quad (-6) + (-7)$$

$$(3)$$
 $(+2) - (+4) - (-5)$

(4) (-6) - (-7) + (-2)

<確認問題>

次の計算をせよ。

$$(1) \quad 5-7$$

$$(2) \quad -3 + 9$$

$$(3) \quad 7 + 5 - 16$$

$$(4) \quad -1 - 5 - 6$$

$$(5) \quad 8 - 9 + 7$$

括弧の省略

式中の括弧の省略

加法と減法からなる式について、

加法または減法を行う数についている括弧を省略できる

- -加法だけの式にして、加法の記号(+)と括弧を省略する
- -式の先頭の項が正の数なら、その正の符号も省略する

<例>

減法のところを
$$(+6)+(+8)+(-7)-(+3)-(-2)$$
 加法に $=(+6)+(+8)+(-7)+(-3)+(+2)$ $=6+8-7-3+2$ 加法の記号と括弧を省略

先頭の正の符号も省略

正の数の加法と減法→正の符号と括弧をそのまま省略 負の数をたす→その数の絶対値でひく 負の数をひく→その数の絶対値をたす という考え方でOK

<確認問題>

次の式について、括弧を省略して表せ。

$$(1)$$
 $(+4) + (-8)$

$$(+4) + (-8)$$

= 4 - 8

$$(2) (-6) + (-7)$$

$$(-6) + (-7)$$

= -6 - 7

$$(3)$$
 $(+2) - (+4) - (-5)$

$$(+2) - (+4) - (-5)$$

$$= (+2) + (-4) + (+5)$$

=2-4+5

$$(4)$$
 $(-6) - (-7) + (-2)$

$$(-6) - (-7) + (-2)$$

$$= (-6) + (+7) + (-2)$$

$$= -6 + 7 - 2$$

<確認問題>

次の計算をせよ。

$$(1) \quad 5-7$$

$$5 - 7$$

=-2

$$(2) \quad -3 + 9$$

$$-3 + 9$$

= 6

$$(3) \quad 7 + 5 - 16$$

$$7 + 5 - 16$$

= -4

$$(4) \quad -1 - 5 - 6$$

$$-1 - 5 - 6$$

= -12

$$(5)$$
 8 - 9 + 7

$$8 - 9 + 7$$

= 6